


■ 浜野洋一制作 1/300、米子の名建築ペーパークラフトシリーズ



# 1/300ペパクラ 米子城

Hamano 

カラー: 太平(ノーマル)バージョン



- 天守、四重櫓をコンパクトにまとめた卓上サイズです。  
【仕上がり寸法、横16.0cm×縦10.0cm×高さ11.5cm】
- 表紙の写真は、作品写真を加工したものです。  
キットはすべて着色済みです。
- お子様の刃物の取り扱いには保護者が立ち会い、  
ケガなどされませんよう充分注意してください。

● 米子城の歴史 【現在は石垣のみ残っています】

鳥取県米子市の中心地、標高90mの湊山に築かれた米子城は、別名「久米城」とも呼ばれ山陰地方で他に先駆けて築かれた本格的な近世初期の平山城です。この城は応仁～文明(1467～1487)年間に、山名宗之によって惣として飯山に築かれたのが始まりと伝えられます。現在「城山」と呼ばれる湊山の本格的な城は西伯者領主吉川広家が天正19(1591)年に築城を開始し、その後伯耆国18万石領主となった中村一忠により、慶長7(1602)年に完成されました。山頂に大小2つの天守を持つ壮麗な姿から、山陰随一の名城といわれていました。



カラーバリエーションは3色!

太平(ノーマル)バージョン



風雲(ダーク)バージョン



シークレットバージョン  
(アトリエ特製限定!)



制作 浜野洋一: 洋画家、小品造形作家 米子美術家協会会員、鳥取県美術家協会会員、光陽会会員

制作年: 2016年 お問い合わせ: haruka-maru@hotmail.co.jp

資料引用協力: 米子市立山陰歴史館、米子市教育委員会文化課

## 米子城 1/300 ペパクラ

価格 300円

規格 厚紙A4 4枚 組立説明書4ページ

※ ノーマルバージョンしかありません。